

南会津がつむぐ 新たな社会教育

本年度は「学校・家庭・地域が一体となった社会教育力の向上」をめざし、「研修の充実と人づくり」「家庭の教育力向上」「地域の教育力・防災力向上」の3つの柱で事業を推進していきます。その取組の1つである「子どもの夢をはぐむ読書活動の推進」では、学校と社会教育が連携した図書館教育の充実を図っています。

そこで、6月24日(水)に御蔵入交流館において読書活動支援者育成事業人材育成基礎研修を行いました。学校関係者や読書ボランティア等59名の方に参加していただきました。

研修の内容は、朗読劇サークル アグリーダックスによる講演「読み聞かせの方法や選書の仕方」と只見町教育委員会図書サポーター(ブックソムリエ)菅家成美氏の講義と実践報告「おいしい読書環境を目指して」でした。

アグリーダックスは、読み聞かせをする前の練習段階で登場人物の気持ちや作者の思いについてグループで十分に話し合い、それに基づいて読み方を工夫し、そこに映像や音楽を加えて朗読を作り上げていくそうです。国語の授業のようなことを自分たちで行い、子どもに伝えるために日々練習を重ねているとのことでした。

菅家成美氏は、只見町の3つの小学校と1つの中学校を巡回し、子どもたちへの本の紹介や読み聞かせに加えて、子どもたちが足を運びたくするような、とてもすてきな図書室の掲示を行っています。読書ボランティアの方は研修を積み重ね、子どもたちのために頑張っています。ボランティアの方と学校でいろいろな面で協力し合い、子どもたちの読書意欲を高めるために今後ともよろしくお願いいたします。



〈朗読劇の様子〉



〈図書室掲示の例〉

南会津夢教育学校紹介 ～ 南会津っ子一人一人の夢 実現のために ～

只見町立只見小学校 コミュニティ・スクール ～ 地域とともにある学校を目指して ～

本校の学校運営協議会(コミュニティ・スクール)は平成24年秋に設立され、今年で4年目となりました。協議会は、教育委員会が任命した地区住民や保護者、企業経営者、教員など12名で構成されています。

学校運営協議会の主な役割は3つあります。

1. 「校長の作成する学校運営の基本方針を承認すること」
2. 「学校運営に関する意見を教育委員会や校長に述べること」
3. 「教職員の任用に関して教育委員会に意見を述べること」

このうち、主に1と2について、年3回の学校運営協議会を通してお互いに意見やアイデアを出し合い、よりよい学校づくりに努めています。

1回目の学校運営協議会は、新メンバーも入るため、学校運営協議会員による学校経営・運営ビジョンの共通理解や、学校が地域と協力して進めた方が良い項目の確認をします。この時、学校で抱えている課題を伝えたり、道徳や総合的な学習の時間の講師を紹介していただいたりします。

2回目は、学校評価アンケートなどをもとに課題を明確にし、校長が次年度の学校経営・運営ビジョンを提案します。ここで委員の方々からさまざまな意見をいただき、学校経営・運営ビジョンに生かしています。

3回目は、次年度の学校経営・運営ビジョンについての承認がなされます。

26年度の取組としては、前年度以上に道徳の授業のゲストティーチャーや総合的な学習の時間の講師を紹介いただいたこと、運動会に地域の方と交流できる種目を設けたこと、落花生栽培を教えていただいたこと、老人会と昔遊びをして交流したことなどが挙げられます。

ここ3年ほど取り組んできた成果として、

- 保護者以外の方々が学校の教育活動に入っていただく機会が増えたことによって、「子どもたちに只見を愛し、誇りに思う心が育っている」こと
- 学校の環境整備に地域の方々のアイデアと協力をいただいたことなどが挙げられます。

課題としては、

- 子どもたちや教職員がもっと地域に出かけ、地域の方々とふれ合ったり行事に参加したりして欲しいという地域の方々の思いにどう応えていくかということです。

学校では授業時間も増え、なかなか大変な面もありますが、だからこそ地域との連携を深め、地域と共にある学校づくりを進めていきたいと考えています。



〈学校運営協議会の様子〉



〈地域の方を講師に迎えた道徳授業〉

「新任校長として」

下郷町立旭田小学校

校長 伊藤 博子

校長として自分に何ができるか、何をすべきかを、いつも考えています。校長の責任の重さをいつも感じています。自分が旭田小学校にいる意義は何かを考える毎日です。

そんな私の心を和やかにしてくれるのが、83名の子どもたちの届託のない笑顔であり、何かあれば全員一丸となって物事に取り組む先生方の姿です。そして「先生、何でも言ってください。全面的に、バックアップしますから。」と、言ってくださる保護者の方々、「何でも気軽に声をかけてくなんしょ。遠慮しなくていいから。」と、声をかけてくださる地域の方々のやさしさです。いかに多くの方々に支えていただいていることか、そのことに感謝するばかりです。

子どもたちはまさに地域の宝です。そして子どもたちは未来そのものです。その未来が、それぞれのよさを発揮し、さらにきらきらと輝けるように、教職員、保護者の方々、地域の方々と手を携えて、教育活動に当たっていきたくと思います。本校の教育目標「創造性と実践力に富んだ心豊かでたくましい子どもの育成」の具現化にチーム旭田で取り組んでいきます。



「新採用教員として」

福島県立田島高等学校

教諭 芳賀 幸恵

新採用教員として、今年の4月から田島高校に赴任しました芳賀幸恵です。担当教科は英語です。田島高校に赴任してから早くも三か月が経過しました。今振り返ってみると、この三か月は、学校の仕組みや仕事の流れを把握し、自身の仕事をこなすことに精いっぱいでした。日々の授業や研修を通して、数多くのことを学んだ、内容の濃いものであったと思います。

最初は、慣れない土地での生活に不安を感じていましたが、今ではその不安は吹き飛び、楽しみの方が大きくなりました。同僚の先生方をはじめ、生徒や保護者の方など、多くの方々に支えられながらこの三か月を充実したものにしてきたのだと思い、感謝しています。

教科指導や生徒指導の面で、先輩教員の方々からのお話を聞くことや、これからのさまざまな経験を通して、自分自身に足りない力を身に付けていきたいと思っています。そして、生徒との信頼関係をしっかりと築き、生徒を第一に考えた指導ができるようになりたいと思っています。

至らない点も多くありますが、自分なりに一生懸命取り組み、さまざまな方からの助言を頂きながら、日々、自己研鑽に励んでいく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

本号の編集にあたりお忙しい中、執筆にご協力いただきました皆様に心より御礼申し上げます。皆様の貴重な記事が「夢教育」実現の一助となることを願っております。

「新任教頭として」

檜枝岐村立檜枝岐小学校

教頭 鈴木 亮

「おはようございます！」活気のある子どもたちの元気な挨拶が学校に響き渡る。

「学校って、子どもっていいな」と感じる瞬間だ。国立磐梯青少年交流の家に3年勤務し、社会教育の重要性も感じる事ができた。しかし、学校はまた特別である。檜枝岐小学校はご存じのように小中一貫教育の学校であるが、私にとっては初めての一貫校勤務、そして南会津も初めてと、とまどいもあるのが正直なところだ。

4月の着任、まだまだ春が遠く感じられるほどの雪景色に迎えられ、身の引き締まる思いを感じた。そんな不安も校長先生をはじめ、小中学校の先生方、村の方々、そして何よりも小中学生45名の子どもたちに温かく迎えられたことでいつの間にか払拭されていった。

15歳の春を見据え、学びという大地にしっかり根を下ろし、人と豊かな大自然に守られながら、9年間の長いスパンで子どもたちを育む檜枝岐の教育。子どもたち一人一人が力強く、しっかりとした自信を持って歩んでいけるよう、私自身も子どもたちと共に成長していきたいと思う。それが南会津の教育になることを願って。

管理の窓

不祥事根絶と学校事故の防止に向けて

不祥事や学校事故による教育活動へのダメージは計り知れません。そのため、未然防止のための組織的、計画的、具体的な取組が重要です。次の点をチェックしてみましょう。

視点1：校内服務倫理委員会の充実

- 不祥事根絶ための行動計画は着実に実施されているか
- 外部委員の導入などマンネリ化防止が意識されているか

視点2：防火診断の問題点への対応

- 防火対策委員会は機能しているか
- 施設・設備の不備は改善されたか

視点3：夏季休業中の危機管理

- 休業中の校舎管理、連絡体制は大丈夫か
- もしもの時、第一報は速やかに!

2学期は管理訪問
お世話になります!



〈 学校事故防止対策協議会 〉